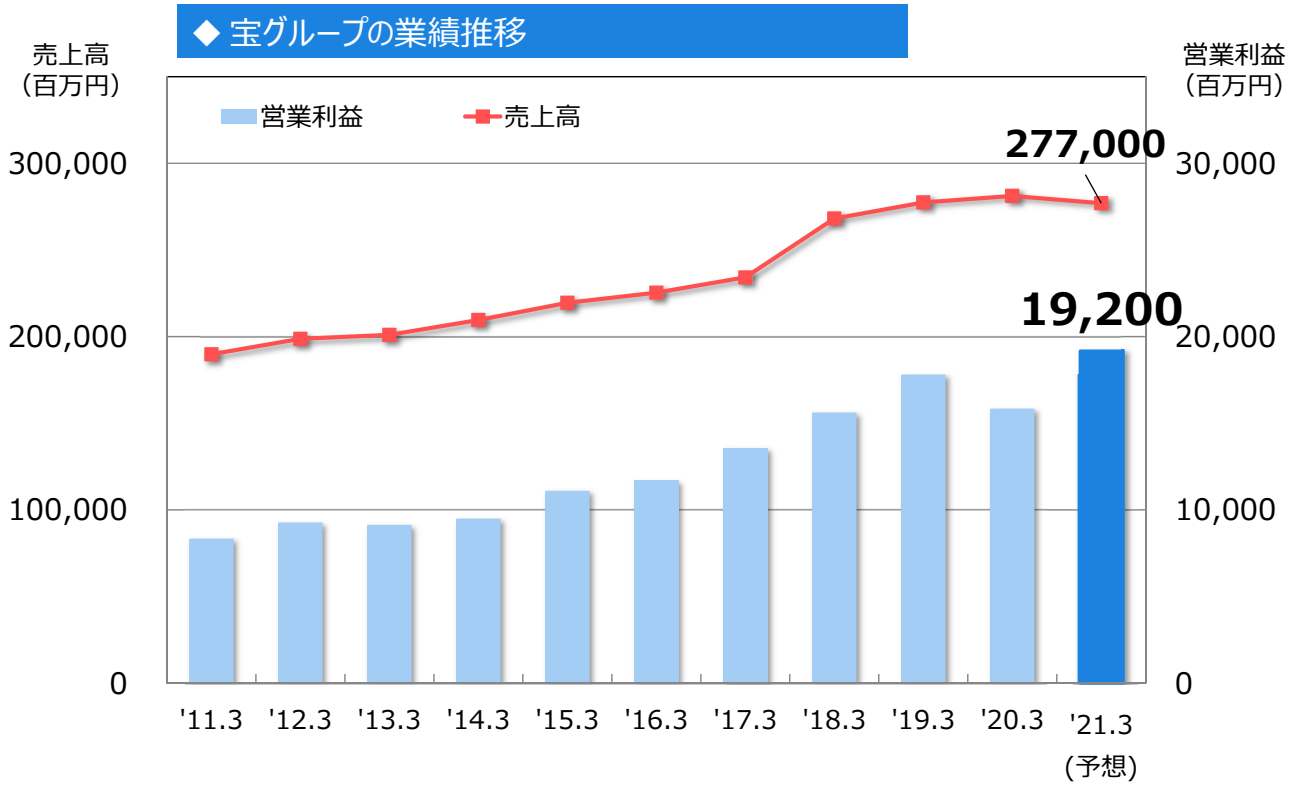
宝ホールディングス株式会社
会社説明会

2021年3月

取締役　森 圭助

国内事業、海外事業、バイオ事業の３つの事業により 2021年3月期の連結営業利益は過去最高となる見通し

◆ 宝グループの業績推移



【本日の内容】

1．宝グループの概要

2．事業内容について

① 宝酒造（国内事業）

② 宝酒造インターナショナルグループ（海外事業）

③ タカラバイオ（バイオ事業）

3．株主還元について

4．「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」について

宝グループの概要

宝ホールディングス㈱について

◆ 会社概要

- 創業: 1842年（天保13年）
- 設立: 1925年（大正14年）
- 上場市場: 東証1部

  (証券コード: 2531)
- 本社: 京都
- 社長: 木村 睦
- 資本金: 13,226百万円
- 従業員: 4,680名

  (グループ連結／2020年3月末現在)
- 時価総額: 3,073億円

  (2021年3月9日現在)

◆ 6年間の業績推移

(百万円)

宝グループの構成

宝ホールディングス株式会社

宝酒造

国内事業

宝酒造インターナショナルグループ

海外事業

タカラバイオグループ

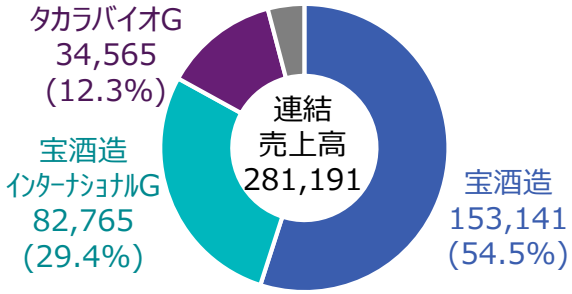
バイオ事業

その他グループ会社

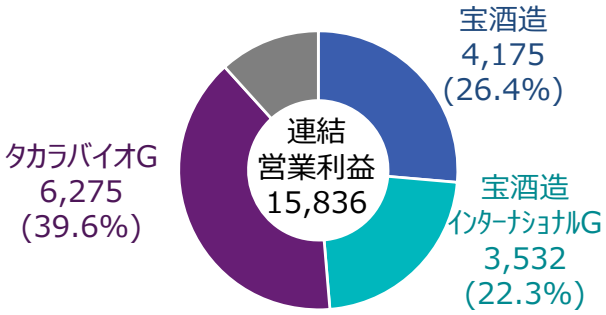
2002年　持株会社化　寶酒造→宝ホールディングスへ商号変更
　　宝酒造、タカラバイオを設立
2004年　タカラバイオ　東証マザーズへ上場　→　2016年　東証一部へ市場変更
2017年　宝酒造インターナショナルを設立

連結業績 （2020年3月期）

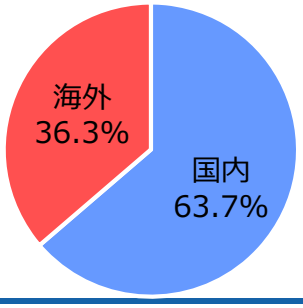
◆ セグメント別売上構成（百万円）



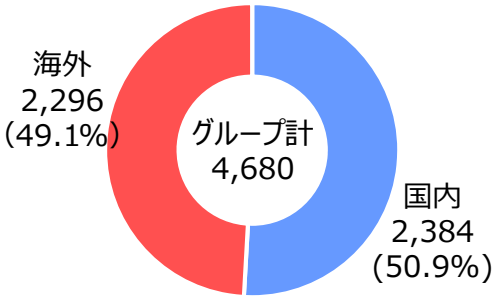
◆ セグメント別営業利益構成（百万円）



◆ 海外売上高比率



◆ 海外従業員比率（人）



当社グループの環境認識

	環境認識	強み
宝酒造	➢ 国内飲酒人口の減少および若年層の酒離れ ➢ 酒税法改正 ➢ 中食を中心とした調味料市場の拡大	➢ 国内酒類・調味料市場での高いシェア（清酒:1位、甲類焼酎:1位、みりん１位ほか） ➢ 和酒No.1による差異化された技術力 ➢ 有力な家庭用製品を持つ強みを背景とした堅調な収益
宝酒造インターナショナルグループ	➢ 世界的な日本食市場の拡大 ➢ 日本産清酒に対する需要のさらなる高まり	➢ 現地生産と輸出の両輪による清酒の販売力 ➢ 欧米豪に広がる日本食材卸ネットワーク ➢ 飲食店ルート向けに高い競争力 →コロナ禍で打撃を受けるも、高い成長性
タカラバイオグループ	➢ 再生・細胞医療周辺産業およびバイオ産業の市場規模拡大	➢ 研究用試薬での豊富な商品ラインアップ（約10,000種類）による高い競争力 ➢ 遺伝子治療プロジェクト上市に向けた先行性 ➢ PCR検査関連技術を核とした感染症への対応力

国内事業、海外事業、バイオ事業の３事業によるバランスのとれた強固な事業ポートフォリオ

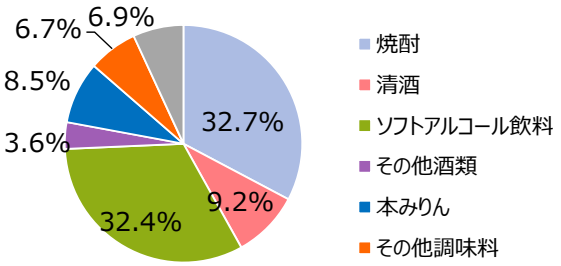
事業内容について

宝酒造
（国内事業）

事業概要

◆ 宝酒造の主要ブランド

◆カテゴリー別売上構成比（2020年3月期）



売上高計 1,531億円

焼酎

宝焼酎

宝焼酎「純」

こだわりのレモンサワー用＜宝焼酎＞

全量芋焼酎「一刻者」

清酒

松竹梅

松竹梅「天」

松竹梅白壁蔵「澪」スパークリング清酒

ソフトアルコール飲料

タカラ canチューハイ

タカラ「焼酎ハイボール」「極上レモンサワー」

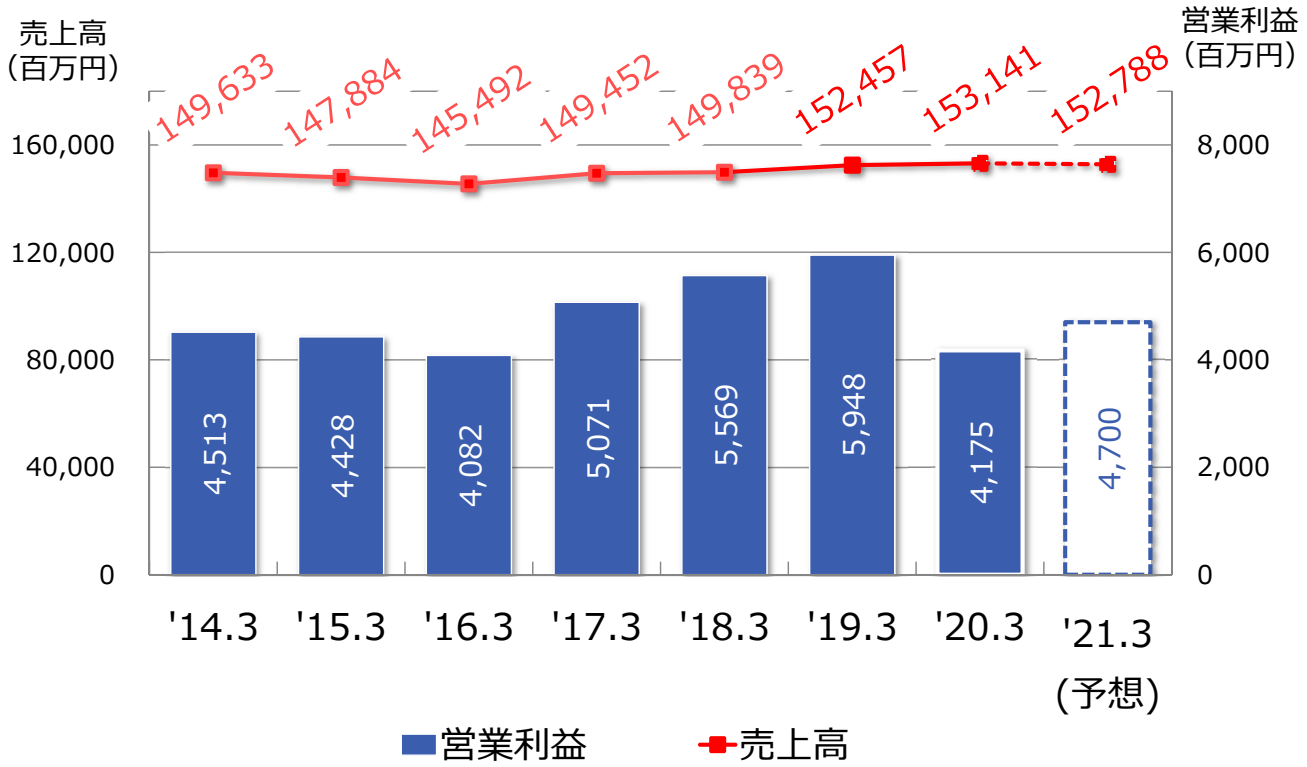
寶CRAFT

本みりん・その他調味料

タカラ本みりん

料理のための清酒

業績の推移

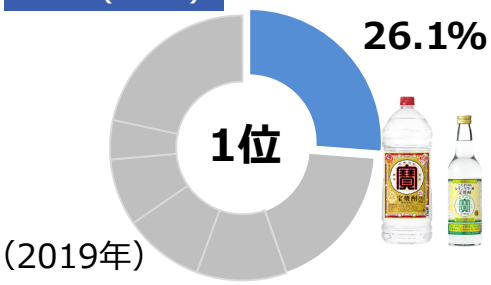


※2016年3月期以前の数値は参考値です

市場シェア

焼酎・清酒・ソフトアルコール飲料・本みりん ＝ 和酒

焼酎(甲類)

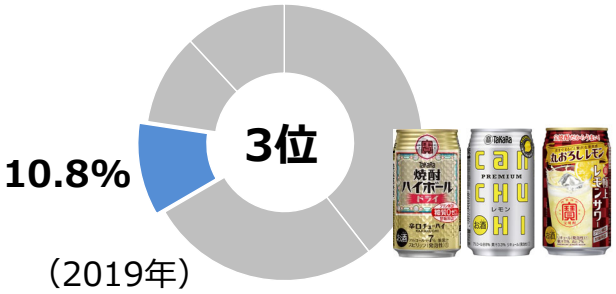


（2019年）

清酒

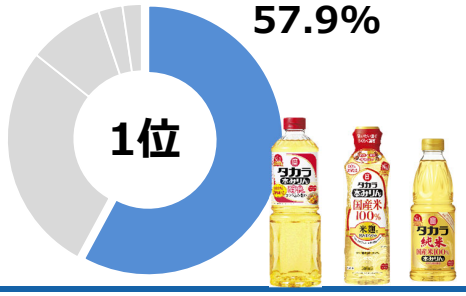
（2019年）

ソフトアルコール飲料



（2019年）

本みりん



（2019年）

＜データ出所＞ 焼酎・清酒：日刊経済通信社、ソフトアルコール飲料：醸造産業新聞社、本みりん：当社推計

新型コロナウイルス感染症への対応

宝酒造は売上高に占める家庭用向け商品の販売比率が高く、
コロナ禍で外食需要減少も、家飲みを楽しむ人が増えることで堅調な収益を維持

家庭内需要に対応した商品の開発

「低アルコール化」など
新たに生まれた消費ニーズに対応

タカラ「焼酎ハイボール」5%(2021年３月発売)

SNS等を活用した情報発信

オンライン飲み会など
新しいお酒の楽しみ方に関する情報を
SNS等で発信

「オンライン飲み」で「手作りレモンサワー」を自慢しあう噺【前編】

2020.5.29 更新

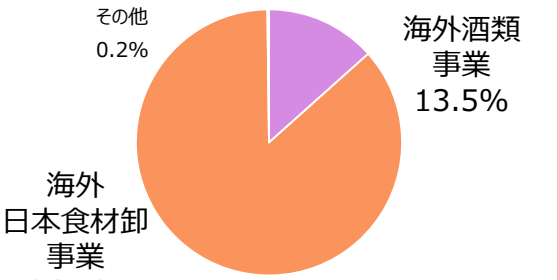
事業内容について

宝酒造インターナショナルグループ
（海外事業）

事業概要

◆ 宝酒造インターナショナルグループの事業展開

◆カテゴリー別売上構成比（2020年3月期）



海外酒類事業

日本からの輸出および海外での現地生産により、清酒「松竹梅」等の自社ブランドを世界各地域で提供。

松竹梅(米国宝酒造製)

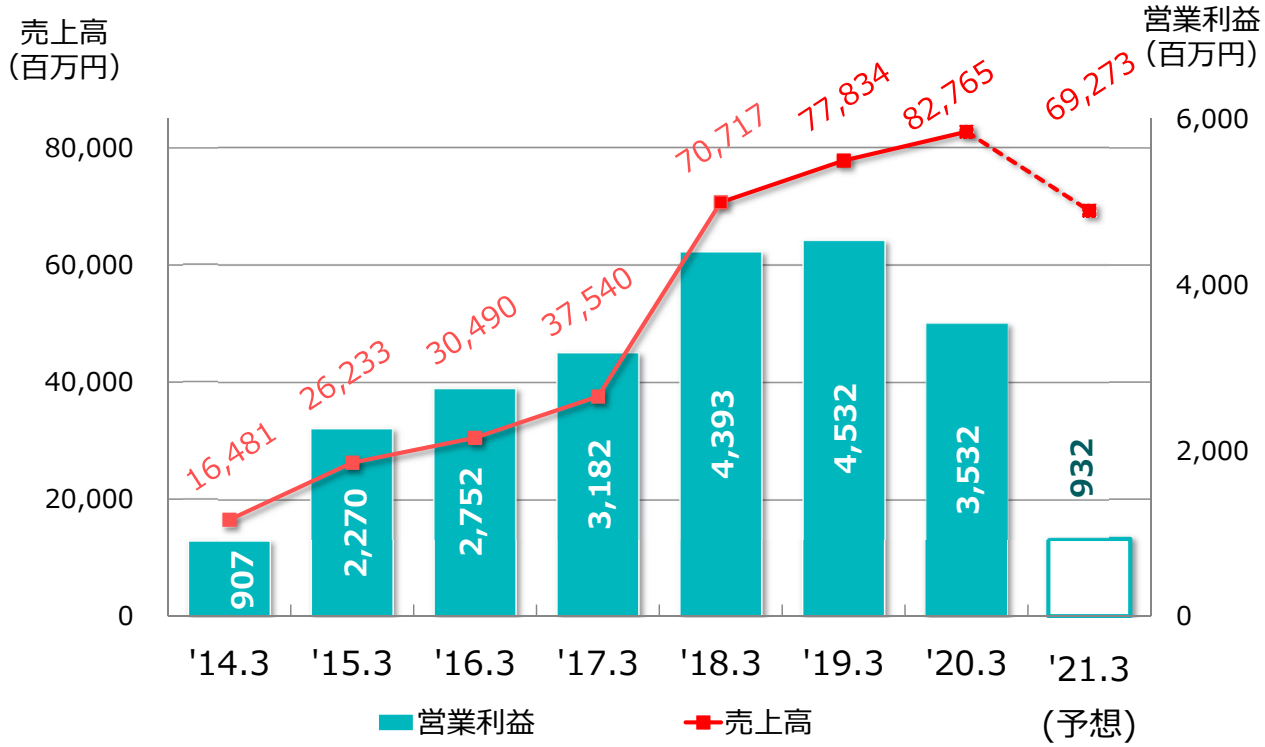
ブラントン

トマーチン

海外日本食材卸事業

欧州や米国、オーストラリアの現地卸会社をパートナーに、コメや寿司ネタをはじめとする日本食材や調味料を日本食レストランなどに供給。

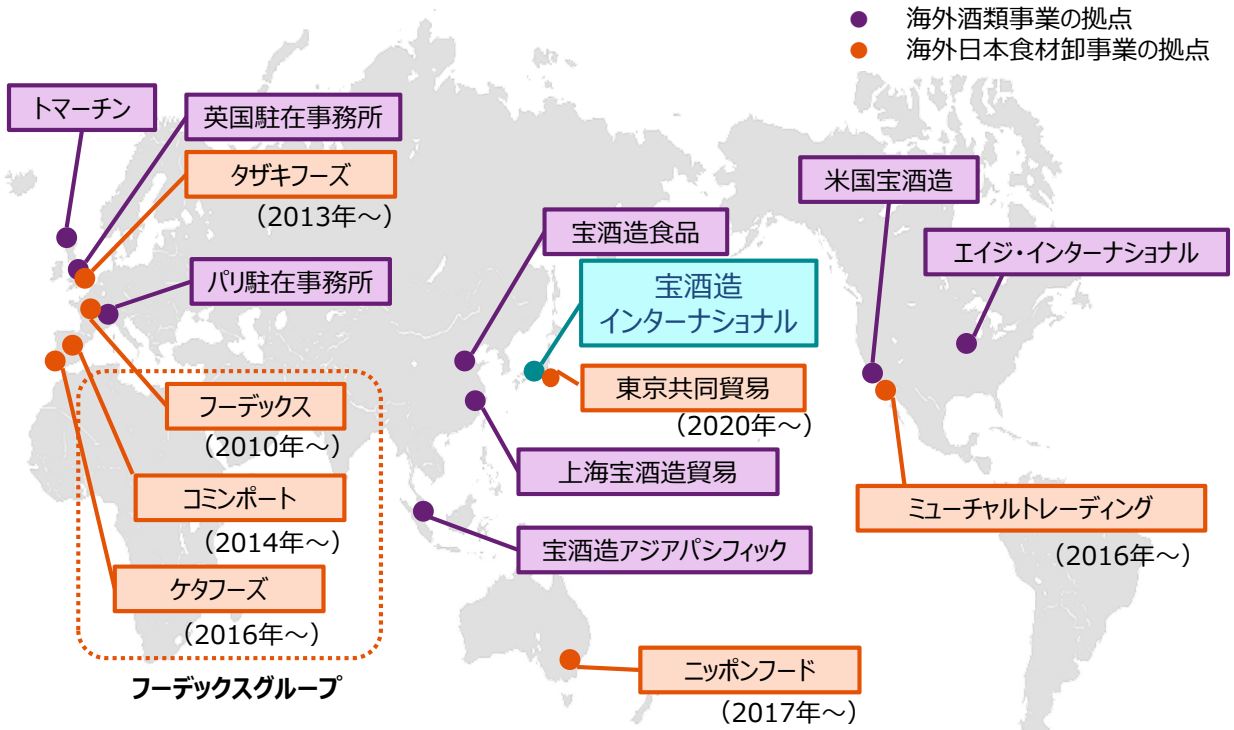
業績推移



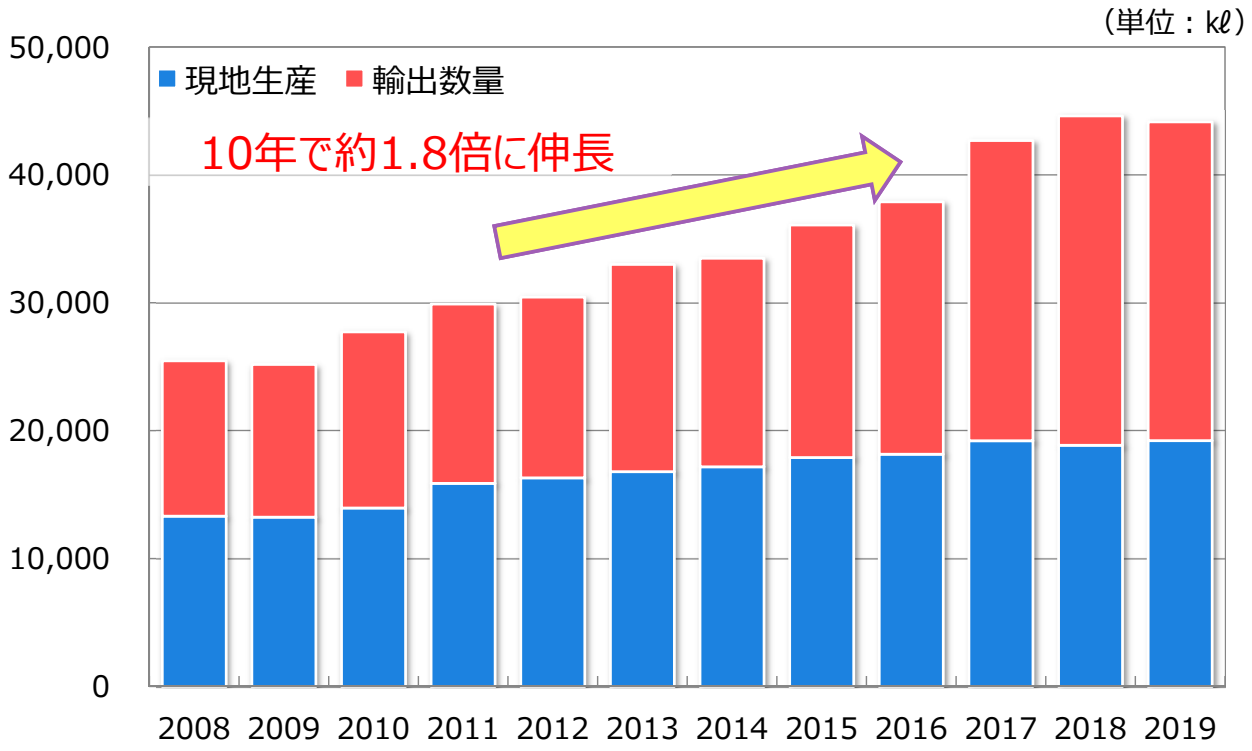
※2016年3月期以前の数値は参考値です

事業拠点

◆ 宝酒造インターナショナルグループの事業拠点



事業環境①　拡大する海外清酒市場

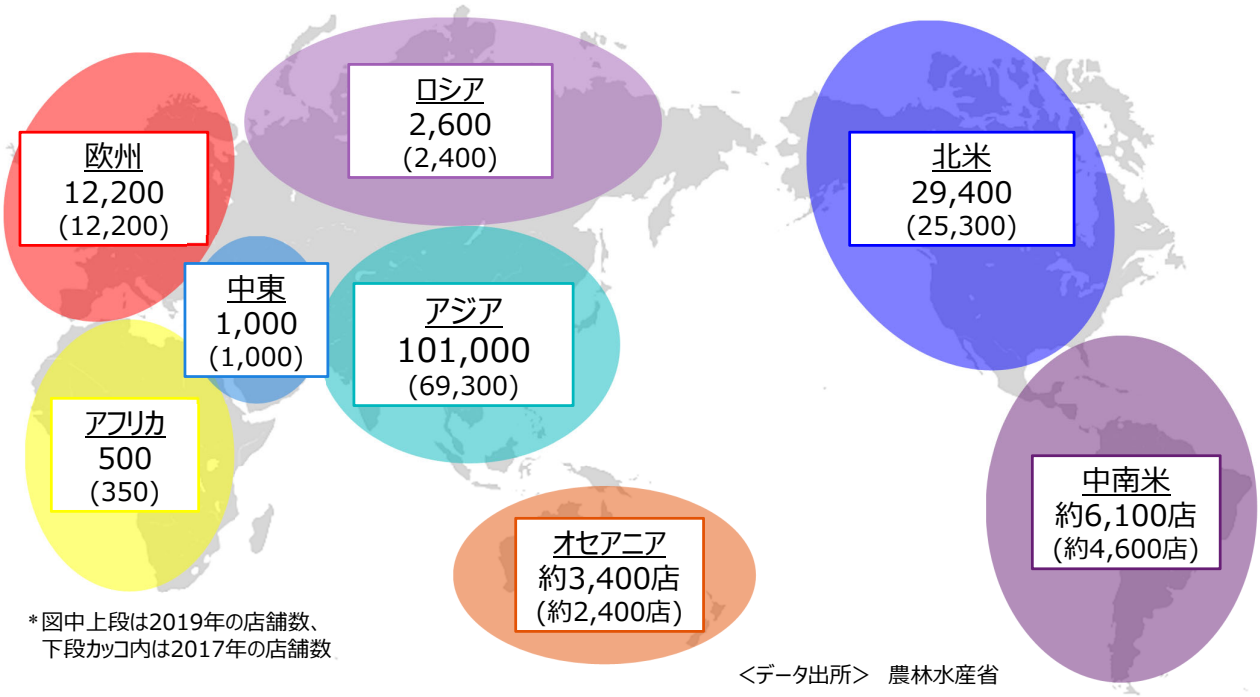


＜データ出所＞　輸出：財務省貿易統計
現地生産：醸造産業新聞社（清酒大手4社の現地生産量合計）

事業戦略　清酒の海外展開

事業環境②　急拡大する海外の日本食市場

〈2013〉	→	〈2015〉	→	〈2017〉	→	**〈2019〉**
約55,000店		約89,000店		約118,000店		**約156,000店**



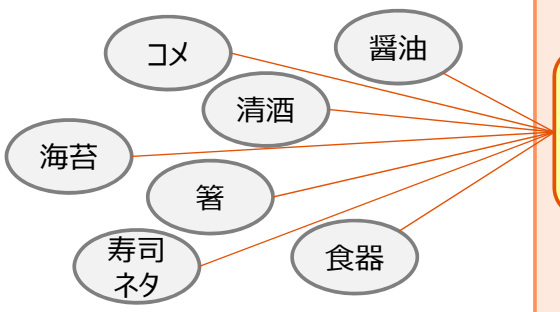
＊図中上段は2019年の店舗数、
下段カッコ内は2017年の店舗数

<データ出所>　農林水産省

事業戦略　海外日本食材卸事業の拡大

◆ 海外日本食材卸事業のビジネスモデル

日本および海外各地から食材等を調達



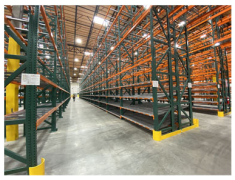
現地の卸会社が各チャネルに販売

海外日本食材卸会社 → 日本食レストラン / スーパー・小売店 / テイクアウト型店舗

TOPIX

東京共同貿易社をグループ化（2020年3月）

- ◆ 米国への商品供給機能拡充
- ◆ 将来的にはグループ共通の輸出拠点として共通購買を推進



新型コロナウイルス感染症への対応

宝酒造インターナショナルグループは、売上高に占める飲食店向けの販売比率※が高く、世界各地でのロックダウン等により、特に海外日本食材卸事業が打撃を受けるも、販路拡大やラインアップ強化で対応

※飲食店向け販売比率：約90%

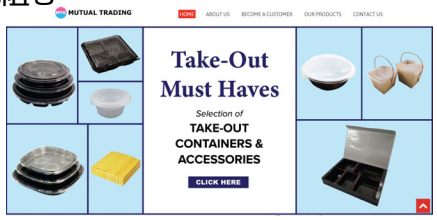
小売店向けの販路拡大

小売店向けの販路拡大、
ECサイトの開設など、
飲食店以外のルートへの販売を拡大

Tazaki Foods「Yutaka」ブランド

テイクアウト需要への対応

食材以外の容器、箸などのラインアップ強化や、家庭で簡単に調理できるミールキットの開発等に取り組む



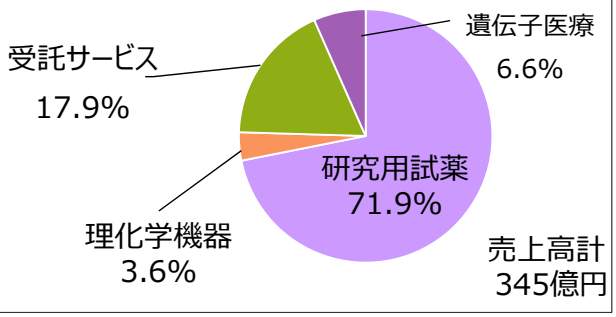
事業内容について

タカラバイオグループ
（バイオ事業）

事業概要

◆ タカラバイオグループの事業展開

◆カテゴリー別売上構成比（2020年3月期）



遺伝子医療事業

がんなどを対象にした遺伝子治療の臨床開発に注力。膵がんを対象にした腫瘍溶解性ウイルスC-REV、滑膜肉腫を対象にしたNY-ESO-1・siTCR®遺伝子治療および、急性リンパ芽球性白血病を対象としたCD19・CAR遺伝子治療の早期商業化を目指す。

バイオ産業支援事業

研究支援分野とCDMO事業の双方で、世界中のバイオ研究を支援。

*CDMO事業　：Contract development and manufacturing organization
再生医療等製品の開発・製造支援サービス

体外診断用医薬品事業

ウイルスなどの核酸をPCR法により検出する体外診断用医薬品などの開発・製造および販売。

SARSコロナウイルス核酸キット

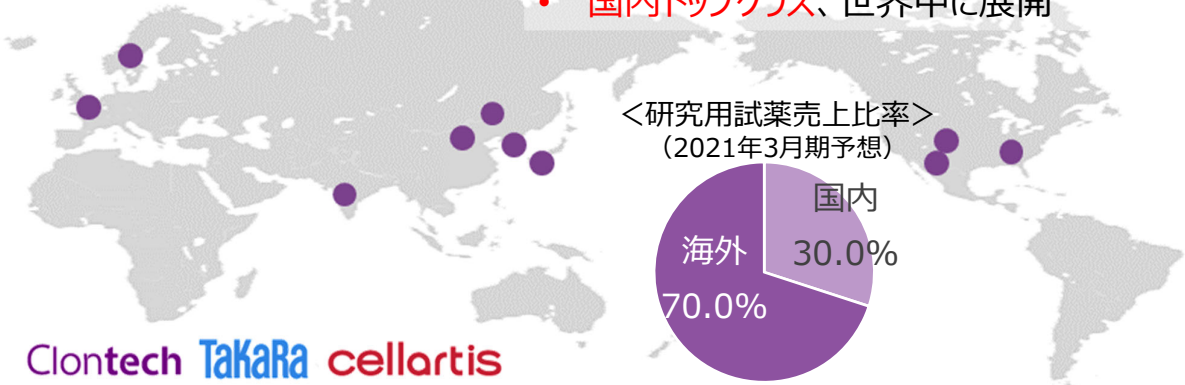
事業戦略　研究用試薬

タカラバイオ

研究用試薬

タカラバイオグループの海外拠点

- 約10,000アイテムの研究用試薬を販売
- 国内トップクラス、世界中に展開



新型コロナウイルス感染症への対応

PCR検査関連製品の開発

〇2020年5月

研究用試薬を発売
SARS-CoV-2 Direct Detection RT-qPCR Kit

〇2020年11月

体外診断用医薬品を発売
Takara SARS-CoV-2 ダイレクトPCR検出キット

〇2021年2月

新型コロナウイルスとA/B型インフルエンザを同一検体から検出可能
Takara SARS-CoV-2 & Flu ダイレクト PCR 検出キット

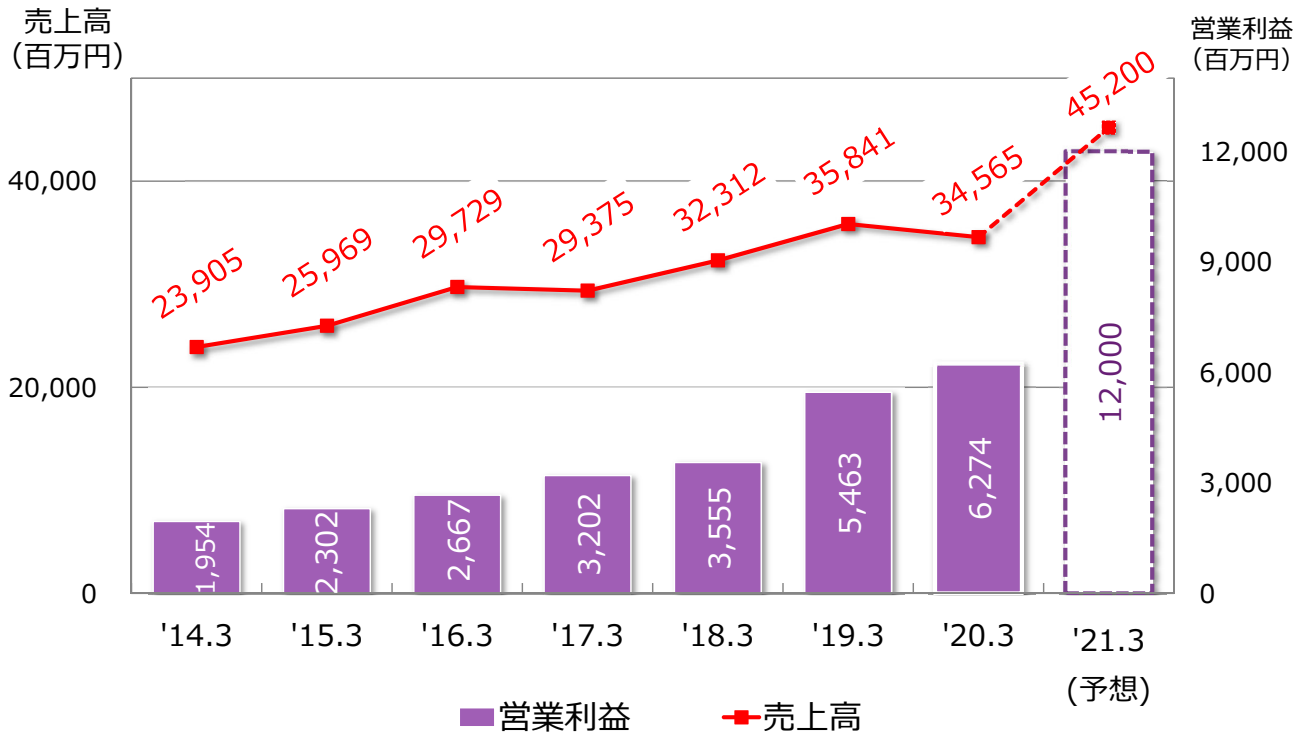
疫学的研究サポート

次世代シーケンサーを利用した
・新型コロナウイルスのゲノム解析
・コロナ罹患者のゲノム解析　など

ワクチン関連の製造受託

CDMO事業の一環として、ワクチンの製造・開発・品質管理などを受託

業績推移

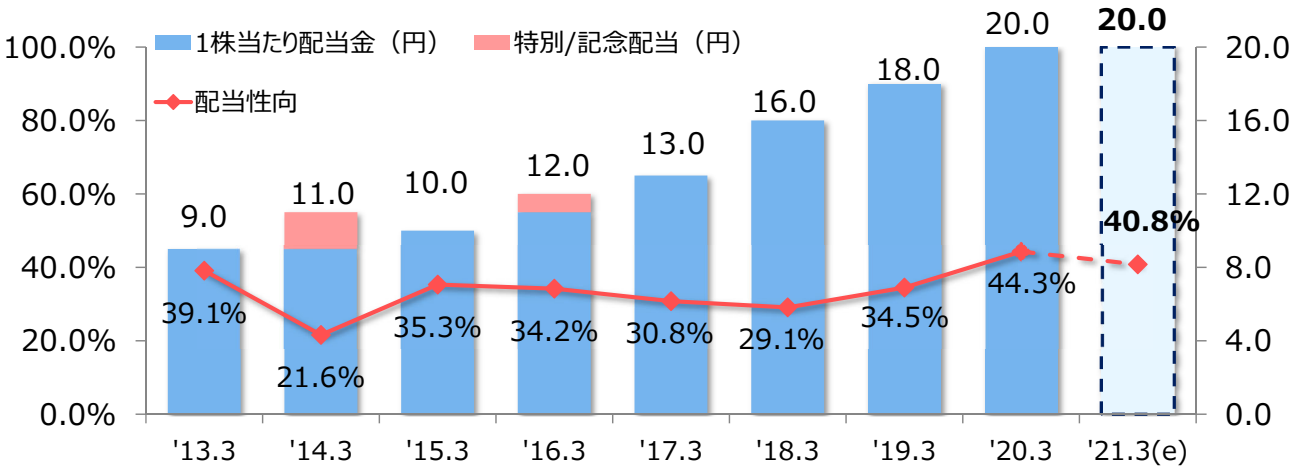


株主還元について

財務方針（宝グループ中期経営計画2022）

株主還元方針	持続的な利益成長に合わせて、配当性向で30%台後半となる安定的な配当を継続する。加えて、機動的な自己株式取得を実施する。

◆ 配当等の推移



株主優待制度について

◆ 株主優待制度

- 対象：毎年3月31日現在の株主名簿に記録された、当社株式1単元（100株）以上を保有されている株主様
- 発送時期：7月中旬～９月下旬頃（順次発送）

■酒類または調味料詰め合わせ

1,000株以上 → 3,000円相当の当社グループ商品等

100株以上 → 1,000円相当の当社グループ商品等

■社会貢献活動への寄付

公的信託「タカラハーモニストファンド」
または
日本赤十字社　への寄付

1,000株以上
→優待品に代えて3,000円を寄付
100株以上
→優待品に代えて1,000円を寄付

※商品は2020年3月期の実施例

「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」について

長期経営構想（2020年5月公表）

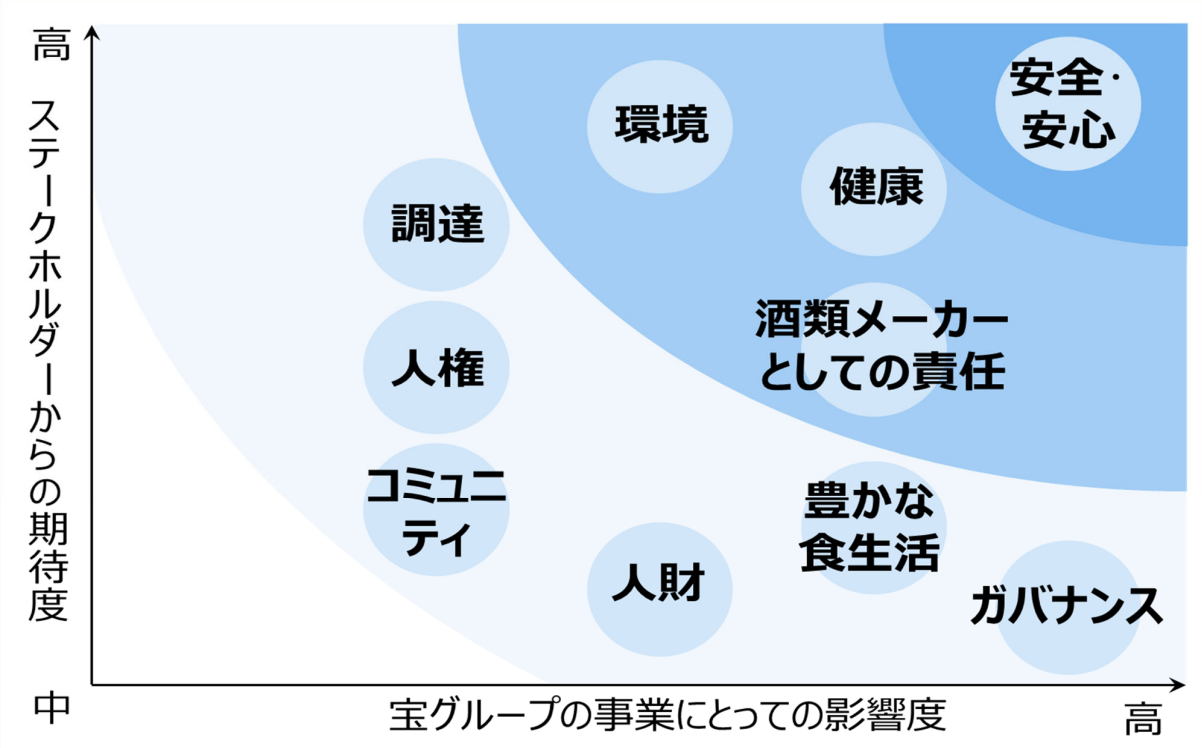
◆長期経営構想 「TaKaRa Group Challenge for the 100th」（TGC100）
［2020年4月～2026年3月］

Vision（ありたい姿）	笑顔で繋がる豊かな暮らしを ～Smiles in Life～ 宝グループは、おいしさを追求する技術と革新的なバイオ技術によって 和酒・日本食とライフサイエンスにおける多様な価値を 安全・安心に提供し続ける企業グループとなることで 人と人の繋がりと笑顔にあふれた健康的で豊かな日々の暮らしへの貢献を目指します。

中期経営計画 「宝グループ中期経営計画2022」 に基づく事業活動の推進	「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」 に基づく取り組みの推進
財務面	**非財務面**

「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」（2020年5月公表）

◆宝グループとしてのマテリアリティ・マトリクス



「宝グループ・サステナビリティ・ポリシー」（2020年5月公表）

将来見通しに関する注意事項

この資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

＜お問合せ先＞
宝ホールディングス株式会社
財務・ＩＲ部
E-Mail ir@takara.co.jp
TEL 075-241-5124